



～学びの主人公は「自分」である～

清瀬第三中学校 副校長 渡辺 千寿

7月7日(月)に第2回学校運営協議会を開催いたしました。今回は、委員の皆様には授業観察をしていただいた後、「授業改善」をテーマとして協議を行いました。

本校では、「三中授業スタンダード」を定め、学習指導上の共通理解に基づき、教員一丸となって授業改善に取り組んでいるところです。

「三中授業スタンダード」は、生徒たちが授業の見通しをもって学習をすすめることができるように「①ねらいの提示 ②自力解決 ③協働 ④自己解決 ⑤まとめ・振り返り」という一連の流れを授業の基本としています。具体的には、本時の授業のねらい(目標)を教師と生徒で共有し、次に「ねらい」の実現に向けて、まずは自分でじっくり考え、課題に向き合うようにします。そして、自分の考えを整理した後に、協働的な学習をすすめることでさらに自分の考えを深化させます。つまり、互いの考えを伝え合ったり、自分の考えと相手の考えを比較することで新たな気づきを得たり、新たな課題を発見することができるのです。最終段階では、授業のねらい達成度を全体で確認します。「わかったこと」「わからなかったこと」を整理して、次時の授業に学びを繋げていくのです。

このように「三中授業スタンダード」では、生徒が主体的に取り組む場面を意図的・計画的に設定し、『主体的に学ぶ生徒』の育成を目指しているのです。

【評議委員の方々からのご意見】

- タブレット端末を積極的かつ有効に活用している授業が増えてきた。
- どの授業に対しても生徒が落ち着いて臨んでいる姿が印象的であった。
- 単位時間における「ねらい」が適切かどうかを吟味するとともに「三中スタンダード」の徹底について今後も継続して取り組む必要がある。
- 個々の学びの状況を確認しながら意図的な指名の仕方を工夫するなど、生徒の意欲を喚起することが大切である。

